

 <p>Keio University 1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR</p>	<p>慶應義塾 調布三田会会報</p>	<p>調布三田会 発行人 橋本 定明</p> <p>連絡先 chofmita@pf7.so-net.ne.jp ホームページアドレス http://www005.upp.so-net.ne.jp/chofmita/hp-hontai/main.htm </p>
--	-------------------------	---

創立 30 年を迎えるにあたり



写真左から、昭和 61 年の発会式、三田キャンパスでの 10 周年記念式典、20 周年交詢社にて連合三田会服部会長挨拶

調布三田会は昭和 61 年 5 月に発足いたしました。その後順調に発展し、ここに創立 30 年を迎えることになりました。これまでに会の発展にご努力いただいた歴代の会長、幹事長並びに幹事、会員の皆様方に感謝いたします。

会発足後、会主催の年間イベントを定例化させ、また同好会も 13 を数え、さらに有志による二次会を含めて会員ならびに家族の親睦・交流がはかられております。加えて地域の行事への参加も増えてまいりました。

このような活発な活動のおかげで、若手塾員の入会者が続いており、このところ会員数約 200 名を維持しております。

今後も順調に更なる発展をとげて、次の 10 年を迎えられることを願っております。

創立 30 年を迎える今年をメモリアル・イヤーと定め、幹事一同で記念事業の検討を進めてまいり、以下の記念行事を開催することといたしました。

- (1) 記念式典の開催
- (2) 記念音楽会の開催
- (3) 会報記念号の発行

記念音楽会は、これまでにない企画で、「ワグネルの演奏と塾を歌い継ぐ、聞き且つ歌う会」を開催、調布市在住の会員以外の塾員にも参加を呼び掛ける予定にしております。調布三田会の存在を PR するとともに、入会を促そうとの思いです。

定例の行事を含め下記に行事内容を記しました。多くの会員並びに家族、さらには友人をお誘いの上、ふるって参加されますようお願い申し上げます。

調布三田会会長・橋本定明(37 工)

創立 30 年記念行事案内

定時総会、記念式典、懇親会	27 年 5 月 10 日	初の 3 部構成、30 年記念は空くじなしの福引に注目！
サマーパーティー	27 年 8 月	市内のレストランで開催。詳細は追ってお知らせします
記念音楽会	27 年 10 月 3 日	たづくり (むらさきホール) にて ワグネルの演奏と塾応援指導部のリードで塾の歌を！
福祉バザー	27 年 12 月 6 日	駅前広場にて。たくさんの品物提供をお願いします
会報記念号発行	28 年 1 月	原稿執筆や当時の写真提供にご協力ください
新年会(会報配布予定)	28 年 2 月 6 日	クレストンホテルにて。詳細は追ってお知らせします

東日本大震災復興支援 ご寄附ありがとうございました

寄付への御礼

調布三田会では、震災の年から毎年会員の皆様に寄付をお願いしております。4 回目となります本年度も会員の皆様から約 45 万円の寄付をいただきました。

本年度も

- ① 慶應義塾の「南三陸プロジェクト」
- ② 調布市内のボランティア団体「調布から！復興支援ボランティア」が行う「福島の子供達に元気を！」の活動支援に 30 万円および 20 万円を寄付することといたしました。

これまでは 3 月にお渡ししておりましたが、今年は 5 月に開催する調布三田会創立 30 年記念式典の席で贈呈することといたしました。

調布・福島フレンドリーカップに参加



7 月 27 日(日)に今年で 4 回目を迎える少年サッカーの交流試合の応援に参加しました。

このイベントは福島と調布の少年サッカーチームとの交流戦「調布・福島フレンドリーカップ」として開催されたもので、いつもは FC 東京に熱い声援を送る調布三田会から計 9 名が駆け付け、会場である市民西町サッカー場で炎天下、元気に駆け巡る将来の J リーガーに大きな声援を送りました。

福島からは「須賀川市・岩瀬 FC」と「新地町・新地 SSS」の子どもたちが参加。震災や原発の影響を微塵も感じさせない元気な選手たちに我々も元気を頂きました。

調布三田会有志はフレンドリーカップの準備段階から参画、フレンドリーカップの事務局からも大変喜んで頂いています。

このような事業が我が町調布で継続されていることに非常に誇りを持つとともに、来年の第 5 回目に向けてさらにサポートを継続していきたいと考えております。皆様も次回は是非ご参加をお願いいたします。

秋山実(61 理工)

サマーパーティー 猛暑のなかで



恒例のサマーパーティーが 8 月 23 日(土)午後 1 時から調布駅近くの四季彩『調風』で開催されました。8 月に入り真夏日が続き、当日も暑さが心配されましたが、小雨まじりの比較的過しやすい日となり、また、場所が分かりにくいのでは…との懸念もありましたが定刻に遅れる人もなく、無事皆様集まっていただきました。

最近では珍しい和室での開催で 48 人が参加して、司会の堀尾君(54 政)絶妙の話術で口火がきられ、橋本会長のご挨拶、新人の畔上君(49 経)、竹下君(H18 文)の紹介に続き、前会長の寺川君(41 経)の乾杯で懇親は始まりました。

和室のなかで、広々としていて移動もしやすく和やかな雰囲気の中、いくつもグループが談笑する姿が見え、今までの猛暑を吹き飛ばす、まさにサマーパーティーとなったようです。

まだまだ飲み足りない方、また、食べ足りない方もいたようですが、あつという間に時間が過ぎて、前幹事長の石黒君(41 商)の中締めのもと、和室の部屋で全員肩を組んで「若き血」の大合唱の末、散会となりました。

今回は、和室で場所が 2 階で階段しかなく、ご高齢の方やお酒を飲みすぎる方のことを心配しましたが、事故もなく、終わることができました。また、この会を楽しみに来てくれる人がいて、多くの方々の参加となりました。まだまだ残暑が続く中、皆様の英気を養っていただけたらと思いつつ散会となりました。お手伝いいただきました皆様ありがとうございました。

その後は急いで味の素スタジアムに FC 東京の応援に行く人、2 次会に行く人もおられたようですが、楽しいひとときを過ごした 1 日となりました。

山田晴男(47 法)

秋の音楽会

ボサノバのリズムに酔いしれて



10 月 11 日 (土) に行われた秋の音楽会。今年是小倉基義君(48 経)ご紹介の「Bossa-La-Mode (ボッサラモード)」。多摩地区中心に活躍されている女性ボーカルとギターの三人組ボサノバユニットです。司会進行は川端弘子君(56 KP)。場所は去年と同じ調布グリーンホール。50 人の方にご参加頂きました。杉並三田会の板倉様ご夫妻もいらっしゃいました。曲はアンコールも含め全 17 曲。ボサノバでは世界一有名な曲「イパネマの娘」と世界で二番目に有名な曲「波」や「What A Wonderful World」、チャップリンのモダンタイムスのテーマソングである「スマイル」、「君住む街角」、「映画カサブランカのテーマ曲」など誰でも一度は耳にしたことのあるような親しみやすい曲ばかりで大いに楽しめました。



途中 20 分間のティータイムの前に「二人でお茶を」という曲の演奏もあり、全体的に選曲のセンスの良さを感じました。

耳に心地よい歌声と音楽が流れ、素敵な午後のひと時を過ごすことが出来ました。初めて幹事を担当しましたが、コーヒーやクッキーもスムーズにお配りすることができて安心しました。参加者の方が「聴いていたらウイスキーが飲みたくなった」と仰有ってました。持田昌子(56 KP)

福祉バザー

駅前広場に戻り例年以上の活況

恒例の福祉バザーは 12 月 7 日(日)、数年ぶりに調布駅前南口広場に戻って開催されました。

当日は冬の日差しが明るく、三田会の販売ブースは南側バス停近くに構えました。今年提供頂いた品物を中心に昨年以上の品物を用意、9 時半の販売開始に備え、メンバーは 7 時半に集合しました。

天候が良く、店の立地も良く、調布三田会の品物は良いとの評判のせいか開店前より大勢の買い物客が詰めかけ、三田会メンバーと買い物客との掛け合いも和気あいあいと行われる風景があらこちらで見られました。他の出店では品物が不足し、2 時前に店じまいも見られましたが当ブースは、終了時間まで客が訪れ、活況でした。3 時前に手際よく片付けも終わり、無事終了しました。



販売額は昨年を大幅に上回り、過去 2 番目となる 28 万余円を記録、経費を差し引いた調布市への寄付額も約 24 万円となり、参加した団体の中でも貢献度は際立ちました。品物を提供して下さった会員及び関係者の皆様、バザーに向けて集荷、値決め、そして当日の販売に関わった方々の協力の結果と思います。

この活動を継続させ向上していくためには、会員からの提供品があつてのことです。改めて今回のバザーへの協力へお礼を申し上げますと共に、今後とも日頃からバザーへの提供品に関心をもって集めておいて頂きたい、ご協力をお願いいたします。

最後に今回初めて値決め作業を含めたバザー活動に参加して改めて調布三田会のチームワークの良さや蓄積された経験の素晴らしさに感心させられたバザーでした。有賀治雄(44 商)

多摩川クリーン作戦 雨の中の多摩川清掃



11 月 9 日(日)、朝 8 時から多摩川河川敷で行われたクリーン作戦に調布三田会のメンバー 6 人が参加。あいにく朝から時折小雨がパラつく中、傘を片手にゴミ袋とトンゴを操るのは、なかなか至難の技でした。最近河川敷も綺麗になり、めったにゴミは落ちていません。ほぼ空に近いゴミ袋を回収する始末でした。

集合写真には調布三田会会員でもある長友市長も一緒に収まり、市長から調布三田会の毎回の協力を感謝の言葉を頂きました。約 1 時間の清掃活動終了後は、京王多摩川駅前前でコーヒーを飲みながらしばし歓談。一部のメンバーは、それから府中競馬場へと向かったのです。さて、戦績はいかに… 池田勝彦(59 文)

連合三田会 調布の幟を見て 2 名が即入会

10 月 19 日(日)、小西幹事長を隊長に、小倉副幹事長、米持君、鈴木君、小生の 5 名が、なんと朝 6 時に調布駅集合で日吉に向かいました。

稲田堤で南武線、武蔵小杉で東横線に乗り換え 7 時前に日吉駅に到着。記念品交換には既に行列ができておりました(皆さん、何時に来たの?)。

早速、記念館前の芝生にレッツゴー。なんと既にセンター通路側は各三田会の旗が占拠。杉並、逗子、鎌倉など(気合が入ってますね)。何とか、サイドの 2 テーブルをゲット(1 テーブルは三鷹三田会さんのため)。調布三田会の幟を立て終え休む間もなく、小西隊長から本日一番の大仕事である「酒の買い出し」の命を受け、米持君、鈴木君、小生、3 名の若手(?)が駅向このコンビニに直行。こんな、朝早くから大量の酒を販売できてコンビニの親爺はニコニコ顔でした。重い酒も小西隊長が新調してくれたキャリーでらくちん。席に戻るなり、隊長より宴会開始の命が出て先ず乾杯。

野川クリーン作戦 古自転車まで発見し大貢献

11 月 29 日(土)朝 10 時、調布市の野川クリーン作戦にメンバー 8 人が参加しました。

あいにく天気は下り坂。インフルエンザが流行中ということで、いつも中島橋下流域を担当していた小学校が早々と中止を決めたことから、今回は下流域まで清掃区域を広げました。古自転車とスーツケースなど大物も発見。さすがに回収用ビニール袋に入るわけもなく、係員に連絡して 30 分ほどで清掃活動を終了。

その後は、打ち上げ会のホスト役を引き受けてくださった寺川ご夫妻のお宅へと移動しました。美味しい手料理の数々と旨いお酒を頂きましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。 池田勝彦(59 文)



(まだ、朝の 7 時 45 分ですよ…)。その後、三々五々会員の方も増え、当日入会の新人 2 名も含め 31 名の方々が来場。昨年とは違い晴天に恵まれ、楽しい 1 日でした。帰りは 16 時前から稲田堤駅前前で打ち上げ、20 時には軒をかいておりました。皆さん、本当にお酒が好きですね(人のこと言えないか…)。 堀尾明(54 政)



新年会

ジャズ演奏で気持ちよく、新春に集う

2月7日、調布クレストンホテルにおいて、調布三田会 27 年新年会を、会員 84 名ゲスト 5 名お客様 3 名計 91 名の参加を得て開催しました。

有賀治雄君(44 商)の司会で開宴。橋本定明会長(37 工)の挨拶では、調布三田会設立 30 年のメモリアル・イヤーとして 5 月の総会や 10 月音楽会で記念イベントを計画中であることが披露され皆さんの参加を呼び掛けました。小西哲夫幹事長(47 経)からは 12 月開催の「調布市福祉バザー」の結果が報告され、お礼とともに今年もさらなる物品提供協力のお願がありました。

次いで新入会員が自己紹介。落合美明君(42 法)と畔上洋一君(49 経)は府中から、川野辺毅君(62 政)は連合三田会で調布の幟を見たのがきっかけとか、実家が調布の関谷明一君(H10 法)は現在沼津在住、石村京子さんは家族会員として、そしてゲスト参加の飯島正行君(H3 理工)はこの日に入会いただきました。



蕎麦打ち

三鷹三田会と合同で

10 月は調布三田会と三鷹三田会合同での例会となり計 15 名が参加、石黒師匠のもと初心者から有段者まで和気あいあいと蕎麦打ちに興じました。

蕎麦打ちの楽しみは、まずその香りです。挽きたてのそば粉をふるいにかけて手で混ぜ合わせると、えも言われぬ香気がふわりと立ち上ります。水加減は非常にデリケートで、空気の湿り具合によっても水の量を微妙に調整しなくてはなりません。粉全体に水が行き渡れば徐々に塊となり、捏ねて丸く整えられたものが伸ばすうちにやがて四角くなっていく様は神秘的です。折りたたんで巨大な包丁で切れば手打ち蕎麦の完成です。

お疲れ様の一杯と談笑の時間はこの会のもう一つの



今年の干支未年卒業登坂幸作君(30 法)の発声で乾杯をした後は和やかに懇談、テーブルの枠も世代も超えて会話も大いに盛り上がり交流を深めました。

今年の新春アトラクションは例年とは趣向を変えて歌とピアノ、トランペットのミニステージ。「トップオブザワールド」からアンコール曲「ルート 66」まで、心地よく酔わせていただきました。ボーカル中尾真喜さんは鈴木浩子君(58 文)と元職場の同期でプロボーカリストとしてジャズを中心に都内ライブハウスで活躍中です。

宴の締めは柴田精一君(38 経)の指導で「若き血」、肩を組み全員で大きな輪を作って大合唱、つづいて卒業 50 年河村秀昭君(40 法)こだわりの「さくら三本締め」で和やかに新年会の幕を閉じました。

なお、東日本震災復興支援活動やカラオケ同好会などでご活躍いただいた幹事の曾山幹也君(42 商)が新年会の前々に逝去されました。寺川毅君(41 経)より震災支援活動報告とあわせて報告があり、全員で黙祷いたしました。曾山君のご冥福をお祈りします。

米持一夫(55 経)



楽しみです。同伴の家族やこの時間帯に合わせて顔を出した会員も一緒に乾杯！有志持ち寄りの手作り料理を肴に話が弾んだ後、今回は北海道幌加内産の新蕎麦粉で師匠が打った蕎麦を試食。かくも美味しい蕎麦を頂けば真にそれは至福の時です。皆様もご一緒にいかがですか？ふるってご参加下さい。松場知子(H19 文)

第 36 回グルメの会

旧新橋停車場見学後スペイン料理を楽しむ

9 月 13 日(土)10 時半過ぎ JR 新橋駅前に集合。再開発が進行中の汐留地区で、「旧新橋停車場」を見学し、スペイン料理店「ベンガベンガ」(スペイン語で「いらっしやい、いらっしやい」)を訪ねた。

「旧新橋停車場」では、再開発に先立って埋蔵文化の発掘が行われた際に発見された新橋停車場の基礎部分やプラットフォームが、当時と同じ場所に再現されており、明治時代からの鉄道の発展の歴史が分かる展示室が併設されている。

展示室には「日本の歌と鉄道」「特急つばめ号」の写真がある。我々の青春時代に、旅行、転勤等でお世話になった寝台車等の写真もあり、当時を思い出し共通の話題で往時を偲び、楽しい一時であった。

この後、スペイン料理店での昼食。料理はこの名物「イベリコ豚の麩焼き」マッシュルームのアヒージョ(ガーリックのオイル煮)、魚介のパエリア等。

各テーブルで政治、経済の話や介護、趣味、主人の家庭での仕事の分担等話に花が咲いた。

私は 25 年 3 月に我が国では年間 100 位しか発症例がない「チャグス ストラウス症候群」という難病にかかり長い入院、自宅療養生活となった。その間全ての会合に欠席。この会も 24 年の「ベトナム料理」以来の約 2 年振りである。久しぶりに元気な会員の姿に大いに力づけられた 1 日であった。

いつも幹事さんのグルメと教養の絶妙なアレンジを楽しませて貰っている。

山中元(34 経)



第 8 回ローカルクラブ

桐生の織物工場と上毛電鉄を訪ねて



11 月 16 日(日)東武伊勢崎線で浅草から新桐生駅に向かいました。

当日は初冬の中、好天に恵まれ古い歴史を漂わせる織物の街を散策しました。織物参考館「紫」では消えつつある古い染色技術や文化の発展、足跡を物語る貴重な資料が展示してあり、また目の前で経糸と横糸が交わり織りなす数々の鮮やかな織物が生まれていく様子を実演でみることができました。

また私たち見学者にも作業の一部を経験させてもらい今では近代的織物機で自動的に生産されているのに比べ昔の人が根気よく時間をかけて働いていたかと痛感させられました。日本に古くから伝わる藍染についても実演がありハンカチなど美しい模様染められていくのを見ることができました。

今回の旅では身近なはずの織物について知識を深めることができ、明治、大正、昭和にかけてヨーロッパから伝えられてきた技術と日本古来の伝統が融合し今日の日本の素晴らしい織物があると感じた次第です。

昼食は洒落たレストランの「ショコラ・ノア」でおまかせランチを頂きました。フランス風の料理で特製デザートは参加者に好評でした。

その後市内の古い蔵の民家に立ち寄り民芸品のみやげを買って、井の頭線の古い車両を使っている上毛電鉄の桐生駅から中央前橋駅、JR 前橋駅、新前橋駅を乗り継ぎ車中で懇談しながら帰宅しました。

川人武樹(29 工)

ハイキング同好会

奥多摩 三頭山ハイキング

11 月 23 日(日)に奥多摩三山の三頭山に登った。立川駅に集合した 6 人で、都民の森に。

ハイキングには最高の秋晴れで、滝を眺めたりブナ林を抜けながら 1,531 メートルの頂上を目指す。秋の奥多摩の魅力を満喫しながら、結構タフなコースを一步步ずつ足を進める。山頂にたどり着き昼食休憩。調布から眺めるよりも、グッと迫ってくる富士山を前に心地よい風に吹かれる。

山頂は、犬を連れた人やバーベキューをはじめめる若者などで結構な混雑だ。三頭山の標識前での記念撮影も順番待ちだ。下山道もなかなか渋滞しており、世話役の土谷君(44 経)の素晴らしい機転により、けもの道にコース変更する。人影も見えないルートをストックのお世話になりながら、ドンドン下りる。待っているのは美味しいビール。二次会は武蔵五日市の居酒屋「まるま」に飛び込む。乾いた咽喉を冷たいビールが潤おし、道中の話や、先日亡くなった高倉健さんのことや話は尽きない秋の一日だった。 鈴木薫(58 文)



日溜りウォーキング

片瀬江ノ島から鎌倉八幡宮へ



2 月 15 日(日)10 時片瀬江ノ島集合した 15 名で春の日溜りウォーキングスタート。

江ノ島から鎌倉への散策です。天気は薄曇り寒かったです。先ず目指したのは江の島神社。江の島に渡る弁財天橋左手にはヨットの帆柱が林立。調布市民にとっては感動ものでした。神社へは緩やかな狭い登り道。土産屋や飲食店が軒を連ねています。江の島神社と江の島弁財天に参拝。後で知ったのですが今日の散策は七福神巡りだったのです。訪問した神社仏閣は江の島の後、長谷寺の大黒様、妙隆寺寿老人、鎌倉八幡宮旗揚げ弁財天の 4 カ所でした。天気も正午過ぎから青空が戻り暖かく快適でした。私の万歩計によると当日の歩数は 22407 歩で、過去ダントツの 1 位でしたが、生き生き歩数はまさかの 25 位。つまり江の島の難所以外は楽な歩きだったということでしょう。都合で早く帰った私以外の方々は鎌倉での打ち上げで幕を下ろした楽しい春の日溜りウォーキングでした。七福神の御利益や如何に。 野村明生(44 経)

音楽同好会

2015 年のスタートは「新世界」で

音楽同好会の今年第一回目の活動は、2 月 11 日(水)調布駅前のグリーンホールで開催された都響の「調布シリーズ」の鑑賞でスタートしました。

当日の演目は、ドヴォルザークの「チェロ協奏曲」と「新世界」。まず遠藤真理さんの力強いチェロの演奏を堪能し、続いてお待ちかねの「新世界」。指揮者スワロフスキーのコミカルとも言えるほどの大きな身振り手振りに合わせた都響の息の合った演奏。今年も何か良いことがおこるのでは？と予感させられる演奏会でした。コンサートの後は恒例の親睦会。近くの「シュベール」に席を取り各自好みのものを注文。あいにく



ビールが品切れだったものの、ワイン、コーヒー、パフェをつまみに、大いに語り、笑い、一年の福を呼び込み家路につきました。今回の参加者は計 18 名でした。現在登録されている会員は 30 名とゲスト 10 名。ジャンルを問わず気楽に音楽を楽しみ、親交を深める楽しい集まりです。 岸野千賀子(51 文)

FC 東京ファンクラブ

今年の FC 東京は優勝を狙える…ゾ!

FC 東京にスターが誕生した。2 足の草鞋を履く現役塾生の武藤嘉紀選手、プロ契約し直ちにレギュラーになり、アギーレ代表監督の観戦時に必ず得点し、代表にも選ばれた。昨シーズン調布三田会 FC 東京ファンクラブは武藤ファンクラブ(?)となって応援、彼が得点する度大変盛り上がった。三田会で観戦がない時は個人的に応援に行き、武藤君の全 13 ゴール中 8 得点を生で「味スタ」で観ることができた。その中で一番印象に残っているのは 4 月のセレッソ戦、満員の観衆の中で武藤君は左サイドを抜け出してドリブルし自らシュー



ト、観衆全てを興奮させる素晴らしいゴールであった。

彼の知名度が日本中に広まる前に、調布三田会ではインタビューに成功(インタビュー記事を前号に掲載)、凛々しい爽やかな好青年であった。

益々の活躍が期待される武藤君、元ジュビロの前田選手も加入し今年の FC 東京は優勝を狙える戦力、楽しみである。 藤野理子(56 文)

テニス同好会

「400 オテニス」をめざして

調布三田会テニス同好会に入会して、早くも 2 年が経ちました。月 2 回緑ヶ丘コートで、また毎月第 3 火曜日には柴崎の大町コートで皆さんとプレイしており、我々夫婦の出席率がかなり良いためか、2 年目からは BH(Ball Holder)を拝命しています。

緑ヶ丘コートではゲームを楽しみ、大町コートでは 2 時間ほど益子コーチの 100 歳テニス・レッスンを受けています。レッスンでは、怪我をしないテニス、技術・体力の衰えを口でカバーするテニス等、目から鱗の技術を習得させてもらっています。

テニス同好会には 66 才の私より先輩の方々がたくさんおられ、その方々が実に楽しそうに伸び伸びとテニスをされています。私も是非その一員としてコートに立ち、コート上の全 4 名で 400 才超のダブルスの試合を目指したいと思っています。 松島俊章(46 文)

現役世代の会

布田 Bistro D' で

調布三田会の新年会に先立って、「まだ現役と自分で考えている」会員が参加できる「現役世代の会」の新年会が 1 月 25 日(日)、布田の「Bistro D' (ディエダッシュ)」で開かれました。

幹事役は持ち回りで、3 カ月に 1 回程度、お薦めの店を紹介して皆でランチを頂戴しながら交流を温めます。今回の幹事は、柳谷君(55 法)。品川通り沿い、椿地蔵の交差点にある小さな、おしゃれなビストロをご案内いただきました。入り口からカウンター席を通り抜けて、お店の奥のテーブルスペースは、10 人の会員がテーブルを囲むとほぼ貸切に近い状態です。乾杯はビールから。肉か魚を選択できるコースランチでお値段も手頃、今回私は真鯛のポワレを頂きましたが、話が弾むにつれてお酒のピッチも上がりはじめ、いつしか赤ワインのボトルの本数を重ねることに…。

あるメンバーの方の話では、28 年ほど前にも調布三田会に現役世代の会があったといいます。ただその後、自然消滅したらしく、当時若手だったご本人も、若手とは言えない歳になって、今回「復活」した「現役世代の会」に参加してくれました。その他、お店の裏手には昔、牧場があって風向きによっては田舎の匂いが漂っていたとか、話題は尽きません。



新メンバーに対し、調布三田会の幹事も務めるメンバーから各クラブ活動の紹介もありました。たっぷり 2 時間半、コーヒーを頂いて賑やかな会を終りました。現役世代の会は、いつも調布三田会の幹事会が午後から開かれる日のランチに開いています。赤い顔をして、そのまま幹事会に走りこんだメンバーたちでしたが、そんな「若手」を大目に見てくれる先輩方のお陰で有意義で楽しい 1 日となりました。 池田勝彦(59 文)

ゴルフ同好会

油断大敵、稲門会に敗れる

年 2 回の慶早対抗ゴルフ大会で、この 6 年間不敗の稲門会に破れてしまいました。10 月 30 日(木)レイク相模での事です。当方エース 2 人の欠場もありましたが誠に不甲斐ない結果でした。聞くところによると相手



方はこの日に備え、若手メンバーを増強し、1 週間前に練習会をやり、万全の態勢で臨んできたようです。

小生は 1 人で 3 人の早稲田人と回りました。車に便乗させて頂いた近所の望月さん、スマートな下村夫人、飛ばし屋の川崎さんと一緒でした。天気も良く、和気あいあい、昼食中、川崎さんから、帰り道に美味しいトコロテンとコンニャクを作っている店があるとの話題が出ました。せっかくだから寄ってみようと言う事になり、近いと思っていたら、遠い・遠いなんと檜原村でした。予定帰宅時間が 1 時間以上遅れてしまいました。下村夫人は同行されませんでしたので、彼女の分も買い、翌日お会いし、ご自宅で採れた柿を沢山頂いてしまいました。口の中でとろけるような美味しい刺身コンニャクを、4 家族で楽しむ事が出来ました。

ゴルフの結果は時の運。何はさておき稲門会の方々との親睦を深めた 1 日でした。 河村秀昭(40 法)

丘の上句会

久々の吟行を兼ねての忘年会

天皇誕生日。実篤記念館は邸宅内開放日。忘年会も兼ね吟行、残る紅葉も楽しむことにする。案内人が付き、閉館前を慌ただしく見学。アトリエ、客室の他外からは見えない台所や、風呂場、地下室等説明を受けて回る。客迎えをよく考えてあり且つ簡便な設計に感心。その後は思い思いに展示館や庭を散策し、各自 2 句宛投句。数人で清記後、快く開店前に座敷を使わせてくれた寿司屋「磯春」で句会。本日の高得点句は「冬木影うつる池面のはや暮色」でした。 寺川徳子(40 文)



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-----------------|----------------|--------------|------------|---------------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|-----------------|-------------|------------------|-------------|-----------------|---------------|----------------|--------------|------------------------------|-------------------------------|---------------|--------------|-----------------------------|--------------------------------|--|
| 望郷の思ひ届くや鰯雲
殉教の島々暮るる秋の海 | 山葵田に木漏れ日風にさやぎけり | 遠くより一日の昏るる干潟かな | 自家製の皿と茶碗と秋茄子 | 八月や六日九日一五日 | また訪はむこの青柿の熟す頃
小さき嘘けふは許さう神の留守 | リラ咲くや生誕の地の遙かなる | 訥々と父のシベリア終戦日 | 日の淡き実篤邸の冬至かな | 葉桜や高遠城趾風ばかり | 機上より凍てつく余呉の湖の見ゆ | 縹雲八雲の愛でし松江城 | 淋しければ蚯蚓が鳴いてくれにけり | 石庭の石の翳りも秋の色 | 職歴はずつと主婦です秋刀魚焼く | 公魚の歌へばやさし声ならむ | 在りし日の夫の手料理とろろ汁 | 尼寺の飛び石つたひ寒牡丹 | 冬牡丹けふ鎌倉はよく晴れて
行商の去りて冬耕再開す | それからを語れば長し終戦日
行く末の細く長く糸瓜蒔く | 冬木影うつる池面のはや暮色 | 行く道の果は百道うるこ雲 | 雲海や北信五岳みな近く
二荒山の神の荒ぶる大夕立 | 潮干狩り子供の声に暮れにけり
息白し訓練終えし犬を抱く | |
| * 竹下八千子 | 井内 晶子 | 阿部 倫久 | 藤枝 とし子 | 寺川 芙由 | 関 一路 | 柴田 如水 | 福島 壺春 | 野本 流々女 | 川原 西絲 | 新城 玄幸 | * 青木 蒼司 | 山崎 山彦 | 名和 未知男 | * 中村 栗堂 | | | | | | | | | | |

丘の上句会自薦 2 句 (*は寺川選)

創立 10 周年の頃 ひびけ 心に ミニコンサート

コンサート! みんなが、心をつつにしてききいる秋のひととき。このミニコンサートは、調布三田会の個性になってきているようです。うれしいことです。

どんなジャンルの音楽でも、いいものはいい。心打つものはいい。これが調布三田会のコンサートの考え方ではないでしょうか。ずっと調布三田会の皆さんを和ませ、癒やし、慰め力づけられるコンサートでありますように!

第三代黒田会長を囲んでのミニ会議。依田幹事長邸の一室。依田幹事長の熱の入った発言。「会の一年を通しての骨組みは出来たのだから、何かもっと慶應義塾らしいことをやってみようよ!」「ちょっとしたコンサートなんかは…」と呟いた私の声に、彼の目は輝いて、すぐさま行動に移られました。

三田出身のプレーヤーに詳しい方をお呼びしての作戦会議が開かれました。

第一弾はカーネギーホール出演を果たしたギタリストの斉藤明子さん。女子高出身。きまり!さて会場は? 当時はまだ「たづくり」はなくやっと探し当てたのが線路脇の防音装置もない「お米館」でしたが、心は盛り上がっていました。当日手作りのプログラムの束をすつと渡してくれた現会長の橋本さんに感謝感激。濃紺のドレスをさやさやと現れた斉藤明子さんの激しくも物悲しいギターの調べは、電車の音も何のその、会場はスペイン。拍手拍手!サプライズは、斉藤嬢と同級生の桑野令嬢からの花束贈呈。

このスタートをご覧になって依田幹事長が急病に。跡をわたしに託すと、旅立たれてしまいました。

わが青春の写真館

私は父(明治生まれ)の勧めで薬科大学に入りました。当時は調剤学、薬(一般薬)の勉強はなく、化学系の学科ばかりで特に楽しい学科はありませんでした。

唯一の思い出旅行は三年の夏 7 月に 2 週間北海道旅行を友達数人でしたことくらいです。他は父が行かせてくれませんでした。

私にとって楽しかったのは結婚後、仕事をしていた時に同僚といった小旅行や旅行好きの主人と旅行したことくらいです。 阿部まろみ(42 KP)



「女は引っ込め!酌でもしてろ!」総会の会場の隅からの一声が、幹事長をお引き受けして以来心に突き刺さっていましたが黒田会長、会計担当の村岡さんに支えられて何とかこなすことが出来ました。

第 2 回はクラシックトリオ・プルミエ。会場はカフェ「INNO」女性会員手作りのクッキーも並んで、和やかなサロンコンサートになりました。

第 3 回はハープの佐藤厚子さん。第 4 回はチターの内藤敏子さん。音色に酔い楽しんだ皆さんは珍しい楽器に興味津々。あれこれと説明を聞いて好奇心も満たされたコンサートとなりました。

やがて「たづくり」がオープンし会議もコンサートも会場探しをしなくて良くなりました。

「たづくり」での第 5 回コンサートは三田マンドリンクラブ OG の演奏。懐かしいポピュラーメドレーに塾生時代に思いをはせたのではないのでしょうか。

その後野本が継投するという条件で就任なさった第 4 代中村会長の下、コンサートに関わりましたが、この代を最後に、若い方々にバトンタッチをしました。新鮮なセンスで引き継いで下さりうれしいことです。依田幹事長がまかれた一粒の種は、すくすくと育っていろいろな花を咲かせてくれています。この音楽の木のもとに、集い、憩い、心豊かに歩みを進めていく調布三田会であって欲しいと願っています。

野本瑠美(37 文)



東京プリンスにて謝恩会 左から 2 番目

創立 20 周年の頃 交詢社で式典

調布三田会も 30 年を迎えるという。顧みて 20 周年の頃のことを書けと言われたが、古稀を過ぎて記憶力減退、往時茫々である。当時は創設時の苦難を乗り越えて、会員も多士済々、会長は何もせずとも皆がアイデアを出し合い、協力してことをすすめてくれたことを感謝するのみである。

幹事長の寺川君は鹿児島勤務という想定外の事態にもかかわらず、会のために時間を費やし、細大もらさず仕切ってくれ、小生は手持ちぶさたの有様であった。

10 周年の会はささやかに三田の学舎で行った。それも懐かしく良かったが、会の成長を皆で祝うため、すこし派手にということで、故郷鹿児島へ帰られた元会員豊岡君(36 経)の協力で新調なった交詢社を借りることが出来た。小生もはじめて利用したが、流石慶應義塾の砦というシックな会場であった。ここを借りられただけで会は半分成功したようなもの。小生の仕事は安西塾長と連合三田会服部会長のご参加を願うことのみ。幸いご出席のお約束を頂いたのだが、急な都合で当日は服部会長だけのご参加であった。銀座の象徴のような会長のご祝詞は若き日に学問を志した方だけあって蘊蓄のあるお話であった。会長の元気なお姿を拝見した最後でもあった。

塾にはこころばかり寄附をさせて頂いた。調布三田会としては初めての恩返しということであったが、その後東北大震災を契機に塾の事業にも僅かながら寄与していると聞き嬉しく思っている。また祝賀会には、黒田前会長のご夫人をはじめ、旧会員のご親族の方や

事情で辞められた旧会員にも来て頂き旧交をあたためることが出来た。楽しい会で調布に戻つての二次会三次会、いつものごとく酩酊してその後の記憶はない。

福島千冬(37 経)



叙勲おめでとう！

秋の叙勲で、幹事の高橋洋一君(43 法)が瑞宝双光章を受賞されました。

お父上の影響や当時の安保に関する新聞記事「警官の暴力による弾圧」の真実を覗きたく、卒業後の進路を警視庁に決められたとか。刑事として私服勤務が長く退職まで犯人という人間との格闘の日々を過ごされ、危険業務に一貫して携わりながら品行方正に過ごされた事への叙勲だったようです。元婦人警官であった奥様ともども陛下にお目にかかって大変緊張された由。勤務以外で皇居を訪問される機会を得られたことを、奥様はとても喜ばれたそうです。

いつも仲良しご夫妻の嬉しい一日だった事でしょう。おめでとうございます。寺川徳子(40 文)

新入会員紹介 (入会順)

氏名	卒年学部	趣味・同好会
竹下八千子君	H18 通文	古文書研究、俳句、歌舞伎
畔上洋一君	49 経	日本の伝統文化、ゴルフ
落合美昭君	42 法	カラオケ、グルメの会
関谷明一君	H10 法	お笑い、ローカルクラブ
川野辺毅君	62 政	テニス、ランニング、旅行、 グルメの会
石村京子君	家族会員	ハイキング、グルメの会
櫻井一成君	56 法	水泳、ウォーキング、 歴史読書、史跡めぐり
飯島正行君	H3 理工	ジョギング
高橋一郎君	53 商	ゴルフ
梅澤拓也君	H4 商	ゴルフ
曾山加代君	家族会員	カラオケ

同好会の紹介

同好会名	活動内容	世話人
談話クラブ	会員資格31年卒以前。年2, 3回。会員が培ったキャリアを基にテーマを決め話題提供、語り合う。会員11名。	中村洋右(25 経) 042-486-0868
丘の上句会	月1回。3つの季題と雑詠2句投句。選句したものを持ち寄り当日相互に句評。会員17名。時には吟行も...	寺川徳子(40 文) 042-489-5606
グルメの会	年2回。散策或いは展覧会鑑賞の後美味しいあるいは珍しい料理(昼食)を楽しみ、親睦を図る。会員46名。	橋本定明(37 工) 042-482-0209
蕎麦打ち同好会	毎月1回、たづくり調理実習室で蕎麦打ちと食事を楽しむ。究極の美味しい蕎麦を目指して技術研修。会員20名。	石黒良昭(41 商) 042-487-3021
ゴルフ同好会	春秋2回の三田会コンペと稲門会との懇親コンペ。会員40名。	関利治(37 経) 042-482-7518
テニス同好会	毎月3回。仙川緑が丘テニスコート(第2, 第4日曜)大町コート(月1回火曜)。会員20名。	益子淳(43 法) 090-1882-2301
ボウリング同好会	年4回。4月より笹塚ボウルに会場を移し再開。2ゲームと懇親会。会員31名。	高橋洋一(43 法) 042-499-0087
ハイキング同好会	年4回。春と秋に年2回のハイキングとウォーキング。その後の打ち上げ。会員56名。	小倉基義(48 経) 042-489-3367
ローカルクラブ	年2回(原則日曜日)。ローカル線に乗り各地の風物や、名物を訪ねる。会員25名。	寺川毅(41 経) 042-489-5606
F C 東京ファンクラブ	年5回。常時優勝を狙えるチームになって欲しいという願いを込め、味の素スタジアムで応援。会員20名。	柳谷一郎(55 法) 042-487-1034
音楽同好会	年10回程度。ジャンルを問わず気楽に音楽を楽しみつつ親睦を図る。会員20名。	片岡信子(45 文) 042-443-8417
カラオケクラブ	年3~4回。カラオケとお酒を楽しむ。会員15名。	平井通隆(40 経) 03-3308-4199
現役世代の会	不定期開催。働く世代のコミュニケーションの場として発足。地元での緩やかなネットワーク作りを目指す。休日のランチ食事会中心。会員15名。	米持一夫(55 経) 042-485-7033

お知らせ

● 訃報

曾山幹也君 42 商 2月5日没

副会長、カラオケ同好会・観桜会世話人、東北支援リーダーとしてご活躍頂きました。謹んでお悔やみ申し上げます。

● 同好会便り

会場や世話人の都合で談話クラブ、ボウリング同好会、カラオケクラブはしばらく休会していましたが、今回報告記事が載せられませんでした。

調布スポーツセンター・柴崎ボウル閉鎖に伴い中断していたボウリング同好会は笹塚に場所を移し4月から活動再開。カラオケクラブも新世話人の下5月から活動開始。皆様の参加をお待ちしています。

次回会報では、また活動報告が載せられることと思います。

編集後記

創立30年を迎えるということで、幹事会での話し合いの結果、会報発行の時期が少しずれました。

天候不順の中でも、桜は確実に咲き、日本人である喜びを再確認。今年は、何もかも咲き急いでいるかのようにも感じられます。この一年を調布三田会一員としてじっくり味わいつつ過ごしたいと思います。皆様もいろいろな行事に是非ご参加下さい。

寺川徳子(40 文)

編集委員：

(編集人) 寺川徳子(40 文)

(委員) 益子淳(43 法)、小川初枝(45 文)、岸野千賀子(51 文)、米持一夫(55 経)、鈴木浩子(58 文)、込山俊博(60 理工)

(顧問) 柴田精一(38 経)

